

令和5年度 学校教育目標

千早赤阪村立中学校

学校教育目標

- たしかな学力をつける
- ゆたかな心を養う
- すこやかな体を育てる

めざす学校像 豊かな自然と少人数指導でのびのびと過ごせる学校

めざす生徒像 思いやりの心を持ち、探求心と表現する意欲のある生徒

めざす教師像 生徒とふれあい、前向きで健全に生徒を導く教師

本年度重点目標

「わかりやすい授業で学力向上に取り組む」

今年度の重点目標は、昨年度に引き続き「わかりやすい授業」に取り組んでいく。授業の「めあて」「ふりかえり」を意識して、1時間での学びに気づく授業。教え込みの授業から思考・表現を大切にする授業。生徒の挙手発言を促し、主体的に学ぼうとする姿勢を育む授業。支援が必要な生徒にもわかりやすいユニバーサルデザインを取り入れた授業。そんな授業を目指すとともに、テストの点数にもこだわり学力向上を目指す。

「支援教育の充実」

支援学級在籍生徒の抜き出し授業を進めていくにあたり、学校全体で支援学級在籍生徒がより良く学習内容の理解が進むように取り組んでいく。また、教職員の支援教育に対する理解が進むように研修を実施し、すべての生徒に対して、支援教育的視点をふまえたわかりやすい授業をめざす。

「道徳教育の発表に向けて土台を作る」

令和7年度に大阪府中学校道徳教育研究会の近畿大会発表があたっていることから、今年度より3年間で学校全体の道徳教育の充実を図る。今年度はその1年目として、道徳授業の基礎基本を大切にして授業力を養う。「考え議論する道徳」を進められるように、授業内の工夫等について研究を進める。